



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 三洋化成工業株式会社

コード番号 4471 URL <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 孝夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事務本部長 (氏名) 山本 眞也 TEL 075-541-6153

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	124,311	1.3	5,944	△9.2	7,135	△6.6	4,210	△7.7
26年3月期第3四半期	122,765	15.7	6,543	41.4	7,640	40.7	4,560	39.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 9,087百万円 (△4.2%) 26年3月期第3四半期 9,483百万円 (224.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	38.18	-
26年3月期第3四半期	41.35	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	181,514	111,437	58.5	963.77
26年3月期	166,529	103,907	59.5	899.24

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 106,271百万円 26年3月期 99,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	7.50	-	7.50	15.00
27年3月期	-	7.50	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	4.1	8,800	8.5	10,000	8.5	6,000	22.0	54.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	117,673,760株	26年3月期	117,673,760株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	7,407,514株	26年3月期	7,401,797株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	110,269,527株	26年3月期3Q	110,285,891株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
四半期ごとの業績推移	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(4月～12月)におけるわが国経済は、消費税増税の影響から個人消費には依然として弱含みの動きが見られ、輸出・設備投資は横ばいで推移しておりますが、企業収益には一部に改善の兆しが見られます。また、中国では景気拡大テンポが鈍化するなど弱さが見られますが、米国では景気持ち直しの動きがあるなど、不透明な状況が継続しております。

化学業界におきましては、高どまりしていた原燃料価格が下落に転じたことや円安の進行などにより、事業環境は第2四半期までの厳しい状況から脱しつつあります。

このような環境下における当第3四半期連結累計期間の売上高は、自動車関連製品の拡販が進んだことなどにより、1,243億1千1百万円(前年同期比1.3%増)となりました。利益面では、原燃料価格が下落に転じたものの当累計期間を通しては前年同期比高値となったことなどにより、営業利益は59億4千4百万円(前年同期比9.2%減)、経常利益は71億3千5百万円(前年同期比6.6%減)、純利益は42億1千万円(前年同期比7.7%減)と、増収減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<生活・健康産業関連分野>

生活産業関連分野は、液体洗剤用界面活性剤の売り上げが低調に推移したこと、また、ヘアケア製品用界面活性剤の価格競争が激化したことなどにより、売り上げは低調となりました。

健康産業関連分野は、紙おむつの薄型化等に貢献する高性能高吸水性樹脂の拡販が進みましたが、一部価格競争の激化もあり、売り上げは低調となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は482億7千3百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は25億5千5百万円(前年同期比19.3%減)となりました。

<石油・輸送機産業関連分野>

石油・輸送機産業関連分野は、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料の国内販売の堅調な推移と海外での大幅な拡販により好調に売り上げを伸ばしました。

また、潤滑油添加剤も需要拡大が続く省燃費対応エンジンオイル用途において、米国における新設備の稼働が奏功し、好調に売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は298億6千3百万円(前年同期比6.4%増)となりましたが当期間を通しては原燃料価格の上昇により、営業利益は6億5千9百万円(前年同期比44.8%減)となりました。

<プラスチック・繊維産業関連分野>

プラスチック産業関連分野は、塗料・コーティング用薬剤などが順調に売り上げを伸ばしました。また、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤も海外を中心に拡販が進み、売り上げは大幅に増加しました。

繊維産業関連分野は、ガラス繊維用薬剤の需要低迷が続く中、国内ユーザーへの拡販が進んだこと、炭素繊維用薬剤の需要が海外を中心に増加したこと、自動車エアバッグ糸やタイヤコード糸などの製造時に用いられる繊維用薬剤が好調に推移したことにより、売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は160億5千8百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益は18億4百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

<情報・電気電子産業関連分野>

情報産業関連分野は、重合トナー中間体ポリエステルビーズの一時的な需要減、粉砕トナー用バインダーが海外での生産を縮小したことにより、低調な売り上げとなりました。

電気電子産業関連分野は、アルミ電解コンデンサ用電解液の需要が復調したことやフラットパネルディスプレイ用樹脂の上市が順調に進んだことに加え、電子材料用粘着剤の需要が増加したことなどにより、売り上げを大幅に伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は153億5千4百万円(前年同期比2.2%減)となりましたが商品構成の良化もあり、営業利益は8億1千7百万円(前年同期比70.9%増)となりました。

<環境・住設産業関連分野他>

環境産業関連分野は、主力の高分子凝集剤が市況悪化により低調な売り上げとなりました。

住設産業関連分野は、建築シーラント用原料や家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料の需要が好調に推移し、売り上げが大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は147億6千2百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は1億8百万円(前年同期は5千1百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、期末日休日の影響等による受取手形及び売掛金の増加、たな卸資産の増加、ならびに時価評価による投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて149億8千4百万円増加し、1,815億1千4百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて75億3千万円増加し、1,114億3千7百万円となりましたが、総資産の伸びが大きかったため、自己資本比率は前連結会計年度末から1.0ポイント低下し58.5%となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。))は、前連結会計年度末残高と比較し13億9千5百万円増加(前年同期は56億2千9百万円増加)し、当第3四半期連結会計期間末残高は168億7千2百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、79億8千万円(前年同期は122億9千8百万円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益65億3千9百万円、減価償却費70億4千万円、仕入債務の増加59億8千5百万円などによる資金の増加が、売上債権の増加63億7千8百万円、法人税等の支払額23億6千6百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、60億5千6百万円(前年同期は61億8千6百万円の減少)となりました。これは、固定資産の取得に62億5千万円を支出したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、6億3千9百万円(前年同期は8億3千3百万円の減少)となりました。これは長期借入金により6億9千3百万円資金が増加(純額)する一方、配当金の支払い16億4千8百万円などにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期累計期間の状況を踏まえ、平成26年4月30日に公表した通期の連結業績予想は変更しておりません。なお、平成26年4月30日に公表した通期連結業績予想に対する当第3四半期累計業績の進捗率は、下表の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
連結業績予想	172,000	8,800	10,000	6,000	54.41
進捗率(%)	72.3	67.6	71.4	70.2	—
前期実績(平成26年3月期)	165,183	8,110	9,212	4,918	44.60

※業績予想は発表日時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が566百万円減少し、利益剰余金が366百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,476	16,872
受取手形及び売掛金	43,626	50,173
商品及び製品	12,101	14,345
半製品	3,464	3,649
仕掛品	495	180
原材料及び貯蔵品	4,110	3,816
繰延税金資産	1,281	1,283
その他	711	1,179
貸倒引当金	△34	△39
流動資産合計	81,232	91,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,705	16,570
機械装置及び運搬具(純額)	27,533	25,148
土地	8,748	8,779
建設仮勘定	1,468	3,229
その他(純額)	1,619	1,507
有形固定資産合計	56,076	55,235
無形固定資産		
ソフトウェア	924	806
のれん	1,201	1,101
その他	477	472
無形固定資産合計	2,603	2,380
投資その他の資産		
投資有価証券	25,005	30,990
長期貸付金	1	3
繰延税金資産	365	436
その他	1,280	1,044
貸倒引当金	△36	△35
投資その他の資産合計	26,617	32,438
固定資産合計	85,296	90,054
資産合計	166,529	181,514

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,322	34,531
短期借入金	9,868	10,633
1年内返済予定の長期借入金	5,871	5,871
未払費用	3,065	3,166
未払法人税等	1,202	516
賞与引当金	1,723	1,066
役員賞与引当金	81	63
設備関係支払手形	710	1,127
その他	3,045	2,770
流動負債合計	53,890	59,747
固定負債		
長期借入金	3,017	3,716
繰延税金負債	2,154	4,485
役員退職慰労引当金	606	360
退職給付に係る負債	1,999	737
その他	953	1,029
固定負債合計	8,732	10,328
負債合計	62,622	70,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	12,194	12,194
利益剰余金	70,412	73,335
自己株式	△5,714	△5,718
株主資本合計	89,943	92,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,099	11,738
為替換算調整勘定	1,310	1,795
退職給付に係る調整累計額	△191	△124
その他の包括利益累計額合計	9,217	13,409
少数株主持分	4,746	5,166
純資産合計	103,907	111,437
負債純資産合計	166,529	181,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	122,765	124,311
売上原価	101,966	103,097
売上総利益	20,799	21,213
販売費及び一般管理費	14,255	15,269
営業利益	6,543	5,944
営業外収益		
受取利息	47	74
受取配当金	362	437
持分法による投資利益	27	567
不動産賃貸料	232	229
為替差益	555	517
その他	369	49
営業外収益合計	1,594	1,876
営業外費用		
支払利息	268	205
不動産賃貸原価	57	47
たな卸資産廃棄損	90	330
その他	80	101
営業外費用合計	498	685
経常利益	7,640	7,135
特別利益		
投資有価証券売却益	129	2
固定資産売却益	5	—
受取保険金	15	21
特別利益合計	151	24
特別損失		
固定資産除却損	500	461
投資有価証券評価損	0	—
支払補償金	—	13
事業整理損	—	144
その他	0	2
特別損失合計	500	621
税金等調整前四半期純利益	7,291	6,539
法人税等	2,051	1,748
少数株主損益調整前四半期純利益	5,240	4,790
少数株主利益	679	580
四半期純利益	4,560	4,210

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,240	4,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,553	3,639
為替換算調整勘定	1,690	589
退職給付に係る調整額	-	67
その他の包括利益合計	4,243	4,296
四半期包括利益	9,483	9,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,481	8,402
少数株主に係る四半期包括利益	1,002	684

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,291	6,539
減価償却費	7,057	7,040
固定資産除却損	500	461
事業整理損	—	144
のれん償却額	100	100
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△582	△658
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△519	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△591
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	67	△246
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△18
受取利息及び受取配当金	△409	△512
支払利息	268	205
持分法による投資損益 (△は益)	△27	△567
固定資産売却損益 (△は益)	△5	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△129	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
その他の営業外損益 (△は益)	△783	△248
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,909	△6,378
たな卸資産の増減額 (△は増加)	112	△1,664
その他の資産の増減額 (△は増加)	△398	△307
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,697	5,985
未払消費税等の増減額 (△は減少)	130	193
その他の負債の増減額 (△は減少)	415	490
小計	13,867	9,967
利息及び配当金の受取額	710	811
利息の支払額	△292	△197
その他	39	△235
法人税等の支払額	△2,027	△2,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,298	7,980
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△6,332	△6,250
固定資産の売却による収入	6	—
投資有価証券の取得による支出	△13	△2
投資有価証券の売却による収入	255	45
貸付けによる支出	△2	—
貸付金の回収による収入	81	0
定期預金の払戻による収入	—	200
その他	△181	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,186	△6,056

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	59	584
長期借入れによる収入	2,759	1,541
長期借入金の返済による支出	△1,869	△848
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△9	△4
配当金の支払額	△1,648	△1,648
少数株主への配当金の支払額	△125	△265
財務活動によるキャッシュ・フロー	△833	△639
現金及び現金同等物に係る換算差額	350	111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,629	1,395
現金及び現金同等物の期首残高	10,164	15,476
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,794	16,872

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関連 分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	50,722	28,056	14,552	15,691	13,741	122,765	—	122,765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	16	—	347	364	△364	—
計	50,722	28,056	14,569	15,691	14,088	123,129	△364	122,765
セグメント利益 又は損失(△)	3,167	1,193	1,755	478	△51	6,543	—	6,543

(注) セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項ありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関連 分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	48,273	29,863	16,058	15,354	14,762	124,311	—	124,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	19	—	376	395	△395	—
計	48,273	29,863	16,077	15,354	15,138	124,707	△395	124,311
セグメント利益	2,555	659	1,804	817	108	5,944	—	5,944

(注) セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

事業整理損には固定資産の減損損失が78百万円含まれております。

報告セグメントごとの内訳は以下の通りであります。

「情報・電気電子産業関連分野」 78百万円

<参考>

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	95,141	3,882	21,182	2,560	122,765	—	122,765
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,412	—	1,067	9	4,490	△4,490	—
計	98,553	3,882	22,249	2,569	127,255	△4,490	122,765
営業利益(又は営業損失)	5,074	△141	1,394	139	6,466	77	6,543

当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	96,711	4,052	20,868	2,679	124,311	—	124,311
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,203	4	1,214	23	5,445	△5,445	—
計	100,915	4,056	22,082	2,702	129,757	△5,445	124,311
営業利益(又は営業損失)	4,756	△156	1,173	103	5,877	67	5,944

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	29,481	(16,853)	8,663	9,676	47,820
II 連結売上高	—	(—)	—	—	122,765
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合(%)	24.0	(13.7)	7.1	7.9	39.0

当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	32,828	(19,133)	8,183	9,257	50,268
II 連結売上高	—	(—)	—	—	124,311
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合(%)	26.4	(15.4)	6.6	7.4	40.4

(注) 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他

(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中東 他

4. 補足情報

1. 連結

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計 平成26年3月期
	(平成25年4月～6月)	(平成25年7月～9月)	(平成25年10月～12月)	(平成26年1月～3月)	
売上高	38,997	41,238	42,529	42,417	165,183
営業利益	2,469	1,635	2,438	1,567	8,110
経常利益	3,094	1,960	2,586	1,571	9,212
四半期(当期)純利益	2,009	923	1,627	358	4,918
四半期包括利益又は 包括利益	4,395	2,575	2,512	1,588	11,071

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成26年4月～6月)	第2四半期 (平成26年7月～9月)	第3四半期 (平成26年10月～12月)	伸び率(%)	
				前年同期(3Q)比	前四半期(2Q)比
売上高	40,793	41,524	41,994	△1.3	1.1
営業利益	1,950	1,449	2,544	4.3	75.5
経常利益	2,251	1,582	3,301	27.7	108.6
四半期(当期)純利益	1,359	917	1,932	18.8	110.6
四半期包括利益又は 包括利益	1,791	678	6,617	165.8	875.2

2. 単体

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計 平成26年3月期
	(平成25年4月～6月)	(平成25年7月～9月)	(平成25年10月～12月)	(平成26年1月～3月)	
売上高	24,475	24,778	26,361	26,525	102,141
営業利益	1,289	426	954	543	3,213
経常利益	1,904	944	1,538	979	5,365
四半期(当期)純利益 (△は損失)	1,476	640	1,296	△3,680	△266

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成26年4月～6月)	第2四半期 (平成26年7月～9月)	第3四半期 (平成26年10月～12月)	伸び率(%)	
				前年同期(3Q)比	前四半期(2Q)比
売上高	26,016	25,568	26,978	2.3	5.5
営業利益	842	461	1,111	16.5	140.8
経常利益	1,373	1,016	1,688	9.8	66.2
四半期(当期)純利益	1,030	706	1,295	△0.1	83.2